



平成27年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年10月5日

上場会社名 キューピー株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2809 URL <http://www.kewpie.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三宅 峰三郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営推進本部長 (氏名) 篠原 真人 TEL 03-5384-7780
 四半期報告書提出予定日 平成27年10月15日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年11月期第3四半期の連結業績（平成26年12月1日～平成27年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年11月期第3四半期	431,565	4.5	21,192	15.1	21,894	13.8	14,030	31.1
26年11月期第3四半期	412,813	4.5	18,418	1.7	19,231	△0.2	10,704	4.2

(注) 包括利益 27年11月期第3四半期 20,460百万円 (58.1%) 26年11月期第3四半期 12,945百万円 (△17.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年11月期第3四半期	92.44	—
26年11月期第3四半期	71.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年11月期第3四半期	363,816	240,047	57.5
26年11月期	356,994	220,397	54.6

(参考) 自己資本 27年11月期第3四半期 209,029百万円 26年11月期 195,051百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年11月期	—	11.50	—	11.50	23.00
27年11月期	—	12.50	—	—	—
27年11月期(予想)	—	—	—	13.50	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

平成27年11月期(予想)の期末配当金額につきましては、マヨネーズ発売90周年記念配当1円を含んでおります。

3. 平成27年11月期の連結業績予想（平成26年12月1日～平成27年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	573,000	3.5	26,000	6.8	26,700	5.3	15,800	18.2	104.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名） 南通丘比食品有限公司、除外 1社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、[添付資料] 4 ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年11月期3Q	153,000,000 株	26年11月期	153,000,000 株
② 期末自己株式数	27年11月期3Q	1,231,761 株	26年11月期	1,132,849 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年11月期3Q	151,787,873 株	26年11月期3Q	150,354,507 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12
4. 補足情報	13
(1) 売上高・営業利益の状況と営業利益の増減要因	13
(2) 設備投資と主要な販売費・一般管理費	15
(3) 国内におけるサラダ調味料の業態別販売量および金額（キューピー株式会社）	15
(4) 海外展開 売上高・営業利益の状況	15
(5) 営業外・特別損益の状況と主な増減内容	16
(6) 貸借対照表の状況と主な増減内容	16
(7) キャッシュ・フローの状況と主な増減内容	16

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安が継続する中、堅調な企業業績により雇用環境の改善は進みました。一方、天候不順などの影響を受ける中、所得の伸び悩みもあり個人消費は低調に推移しました。

食品業界においては、食の安全・安心に関する話題が多く取り上げられるとともに、原資材価格の上昇などによる商品の値上げも進みました。

食品物流業界においては、人手・車両不足による運送コストの上昇などが継続しました。

◇ 当社グループ（当社および連結子会社）の状況

平成25年度からの3年間を対象とする中期経営計画では、グループ全体で挑戦する風土を醸成し、国内での持続的成長と海外での飛躍的成長を遂げるべく、「ユニークさの発揮と創造」を軸にした4つの経営方針（経営基盤の強化、国内でのイノベーション、海外への本格展開、将来への布石）にグループが連携して取り組み、企業価値の一層の向上に努めております。

・売上高

調味料事業やサラダ・惣菜事業、物流システム事業などの好調や、加工食品事業におけるアヲハタ株式会社の連結子会社化により、4,315億65百万円と前年同期に比べ187億52百万円（4.5%）の増収となりました。

・利益

タマゴ商品の価格改定や物流システム事業のコスト改善、海外展開の伸張により、営業利益は211億92百万円と前年同期に比べ27億74百万円（15.1%）、経常利益は218億94百万円と前年同期に比べ26億63百万円（13.8%）の増益となりました。

四半期純利益は、アヲハタ株式会社の連結子会社化による特別利益19億48百万円などにより、140億30百万円と前年同期に比べ33億26百万円（31.1%）の増益となりました。

◇ セグメント別の状況

[売上高の内訳]

(単位：百万円)

	前第3四半期 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)	当第3四半期 (自平成26年12月1日 至平成27年8月31日)	増減(金額)	増減(比率)
調味料	114,746	118,528	3,782	3.3%
タマゴ	73,373	76,741	3,368	4.6%
サラダ・惣菜	76,496	81,307	4,811	6.3%
加工食品	42,666	46,606	3,940	9.2%
ファインケミカル	7,494	8,320	826	11.0%
物流システム	93,926	95,777	1,851	2.0%
共通	4,109	4,284	175	4.3%
合計	412,813	431,565	18,752	4.5%

[営業利益の内訳]

(単位：百万円)

	前第3四半期 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)	当第3四半期 (自平成26年12月1日 至平成27年8月31日)	増減(金額)	増減(比率)
調味料	9,141	10,315	1,174	12.8%
タマゴ	2,481	4,025	1,544	62.2%
サラダ・惣菜	2,597	2,021	△576	△22.2%
加工食品	265	167	△98	△37.0%
ファインケミカル	632	187	△445	△70.4%
物流システム	2,496	3,611	1,115	44.7%
共通	795	857	62	7.8%
調整額	6	6	0	0.0%
合計	18,418	21,192	2,774	15.1%

調味料

- ・海外での拡大が進むとともに、国内はサラダ調味料が堅調に推移し増収
- ・積極的な需要喚起で販売促進費は増加したが、増収効果やコスト改善により増益

タマゴ

- ・半熟技術を活用した付加価値品や夏のメニュー向け商品の伸張、価格改定効果により増収
- ・販売数量の増加や価格改定の効果に加え、コスト改善が進み増益

サラダ・惣菜

- ・宅配ルートなどの新販路への展開や生産体制の強化で、惣菜やカット野菜が伸張し増収
- ・コスト改善は進んだが、減価償却費などのコスト増加により減益

加工食品

- ・アヲハタ株式会社の連結子会社化や、調理ソース・育児食の伸張により増収
- ・不採算商品の整理は進んだが、連結子会社化によるコスト増加で減益

ファインケミカル

- ・医薬用EPAは伸び悩んだが、通信販売会社の連結子会社化やヒアルロン酸の好調により増収
- ・医薬用EPAの売上減少や通信販売会社の連結子会社化によるコスト増加で減益

物流システム

- ・既存顧客の受託エリア拡大や新規顧客の獲得などが進み増収
- ・増収効果やコスト改善、燃料コストの減少などにより増益

共通

- ・食品メーカー向け製造機械の販売増加により増収増益

(2) 財政状態に関する説明

◇総資産、負債、純資産の状況

- ・総資産は、3,638億16百万円と前連結会計年度末に比べ68億22百万円増加
主に「有形固定資産」、「商品及び製品」の増加、「現金及び預金」の減少による
- ・負債は、1,237億69百万円と前連結会計年度末に比べ128億27百万円減少
主に「支払手形及び買掛金」、流動負債の「その他」に含まれる未払費用の減少による
- ・純資産は、2,400億47百万円と前連結会計年度末に比べ196億50百万円増加
主に「利益剰余金」、「少数株主持分」の増加による

◇キャッシュ・フローの状況

- ・現金及び現金同等物の残高は、206億9百万円と前連結会計年度末に比べ241億78百万円減少
- 各キャッシュ・フローの状況
- 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益、減価償却費に加え、引当金、たな卸資産の増加、売上債権、仕入債務、その他に含まれる未払費用の減少、法人税等の支払いなどにより132億24百万円の収入（前年同期は188億33百万円の収入）
 - 投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券、有形固定資産の取得による支出などにより314億76百万円の支出（前年同期は291億53百万円の支出）
 - 財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いなどにより64億9百万円の支出（前年同期は13億94百万円の支出）

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しについては、主原料価格の変動や個人消費の変化など、当社グループにとって不透明な環境が続くものと思われまます。

当社グループは、平成25年度からの3年間を対象とする中期経営計画の最終年度にあたり、国内での持続的成長と海外での飛躍的成長をめざし、「国内でのイノベーション」と「海外への本格展開」を着実に進めてまいります。

国内においては、マヨネーズ発売90周年を記念した企画やマヨネーズの万能調味料化を進めるとともに、最適な生産体制の構築による効率化や増産への対応を進め、基幹領域を深耕してまいります。また、スーパーマーケットのチルド売場やネット販売、宅配ルートなど、新たな販路への展開に挑戦してまいります。

また、海外においては、中国や東南アジアの生産および営業の拠点を活用し、エリア特性に応じた展開によるアジアのマヨネーズ市場の拡大や、グループ資源の活用による世界的な外食チェーンとの取り組みなど、アジアでの本格展開を進めてまいります。

なお、本年7月1日に公表しました平成27年11月期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結会計期間より、新たに南通丘比食品有限公司を設立したため、連結の範囲に含めております。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、平成26年12月1日をもって当社のパン周り商品販売事業をアヲハタ株式会社に会社分割したことにより当社はアヲハタ株式会社の株式を取得しました。その結果、第1四半期連結会計期間より、従来、持分法適用の範囲に含めていたアヲハタ株式会社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）および「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても退職給付の見込支払日までの平均期間に基づく割引率から、退職給付支払ごとの支払見込期間を反映した割引率へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が47百万円減少し、退職給付に係る負債が460百万円増加するとともに、利益剰余金が320百万円減少しております。また、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,815	20,618
受取手形及び売掛金	81,498	81,228
有価証券	10,000	5,000
商品及び製品	14,811	17,021
仕掛品	1,142	1,122
原材料及び貯蔵品	6,995	8,256
その他	5,533	11,828
貸倒引当金	△203	△171
流動資産合計	154,593	144,904
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	151,166	167,070
減価償却累計額	△86,759	△93,870
建物及び構築物（純額）	64,406	73,200
機械装置及び運搬具	142,058	153,925
減価償却累計額	△113,659	△120,187
機械装置及び運搬具（純額）	28,399	33,737
土地	46,109	47,847
建設仮勘定	7,144	3,266
その他	19,468	20,899
減価償却累計額	△11,977	△13,205
その他（純額）	7,491	7,694
有形固定資産合計	153,550	165,746
無形固定資産		
のれん	183	1,840
その他	3,204	3,534
無形固定資産合計	3,388	5,374
投資その他の資産		
投資有価証券	26,568	27,705
退職給付に係る資産	8,207	9,264
その他	11,226	11,348
貸倒引当金	△540	△527
投資その他の資産合計	45,462	47,790
固定資産合計	202,401	218,911
資産合計	356,994	363,816

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	53,775	47,909
短期借入金	7,859	9,568
未払法人税等	5,278	4,205
賞与引当金	1,054	4,839
その他の引当金	1,075	2,778
その他	37,054	22,720
流動負債合計	106,097	92,022
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	6,632	6,160
退職給付に係る負債	2,581	3,202
資産除去債務	653	739
その他	10,632	11,643
固定負債合計	30,499	31,746
負債合計	136,596	123,769
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,104	24,104
資本剰余金	30,309	30,302
利益剰余金	142,489	152,556
自己株式	△1,150	△1,415
株主資本合計	195,752	205,548
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,902	8,623
繰延ヘッジ損益	4	△11
為替換算調整勘定	△1,234	56
退職給付に係る調整累計額	△5,373	△5,187
その他の包括利益累計額合計	△701	3,481
少数株主持分	25,346	31,017
純資産合計	220,397	240,047
負債純資産合計	356,994	363,816

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年8月31日)
売上高	412,813	431,565
売上原価	313,061	322,225
売上総利益	99,751	109,340
販売費及び一般管理費	81,333	88,148
営業利益	18,418	21,192
営業外収益		
受取利息	129	95
受取配当金	339	430
持分法による投資利益	—	67
その他	877	731
営業外収益合計	1,346	1,325
営業外費用		
支払利息	219	237
持分法による投資損失	28	—
その他	285	385
営業外費用合計	532	623
経常利益	19,231	21,894
特別利益		
持分変動利益	—	1,118
段階取得に係る差益	—	830
負ののれん発生益	406	105
固定資産売却益	79	114
その他	244	623
特別利益合計	729	2,792
特別損失		
固定資産除却損	562	1,079
関係会社出資金評価損	—	257
関係会社清算損失引当金繰入額	—	261
減損損失	—	71
その他	46	33
特別損失合計	609	1,704
税金等調整前四半期純利益	19,351	22,982
法人税等	7,115	7,126
少数株主損益調整前四半期純利益	12,236	15,855
少数株主利益	1,531	1,824
四半期純利益	10,704	14,030

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自平成25年12月1日 至平成26年8月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自平成26年12月1日 至平成27年8月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	12,236	15,855
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	451	2,837
繰延ヘッジ損益	△3	△15
為替換算調整勘定	260	1,610
退職給付に係る調整額	-	172
持分法適用会社に対する持分相当額	0	-
その他の包括利益合計	709	4,604
四半期包括利益	12,945	20,460
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,335	18,213
少数株主に係る四半期包括利益	1,609	2,246

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	19,351	22,982
減価償却費	11,768	13,989
減損損失	—	71
持分法による投資損益(△は益)	28	△67
投資有価証券評価損益(△は益)	4	0
関係会社出資金評価損	—	257
引当金の増減額(△は減少)	4,960	5,274
負ののれん発生益	△406	△105
段階取得に係る差損益(△は益)	—	△830
持分変動損益(△は益)	—	△1,118
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	315
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	—	△1,104
前払年金費用の増減額(△は増加)	△353	—
受取利息及び受取配当金	△469	△526
支払利息	219	237
固定資産除売却損益(△は益)	484	967
売上債権の増減額(△は増加)	△6,652	4,350
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,061	△2,238
仕入債務の増減額(△は減少)	2,180	△9,297
その他	△3,646	△10,641
小計	24,408	22,518
利息及び配当金の受取額	528	557
利息の支払額	△238	△256
法人税等の支払額	△5,865	△9,594
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,833	13,224
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△10,000	△10,000
有価証券の償還による収入	5,000	5,000
有形固定資産の取得による支出	△22,699	△25,082
無形固定資産の取得による支出	△419	△925
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	44
投資有価証券の取得による支出	△1,032	△85
投資有価証券の償還による収入	1,946	—
関係会社株式の取得による支出	△2,184	—
子会社株式の売却による収入	432	—
関係会社株式の売却による収入	—	58
短期貸付金の純増減額(△は増加)	38	△374
長期貸付けによる支出	△38	△18
長期貸付金の回収による収入	20	9
定期預金の預入による支出	—	△98
定期預金の払戻による収入	—	117
その他	△215	△120
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29,153	△31,476

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年12月1日 至 平成26年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年12月1日 至 平成27年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	138	8
長期借入れによる収入	4,010	603
長期借入金の返済による支出	△668	△1,073
配当金の支払額	△3,369	△3,642
少数株主への配当金の支払額	△512	△531
自己株式の取得による支出	△3	△77
子会社の自己株式の取得による支出	—	△551
その他	△990	△1,143
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,394	△6,409
現金及び現金同等物に係る換算差額	96	482
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△11,618	△24,178
現金及び現金同等物の期首残高	43,963	44,788
現金及び現金同等物の四半期末残高	32,344	20,609

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間（自平成25年12月1日至平成26年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	調味料	タマゴ	サラダ・惣菜	加工食品	ファインケミカル	物流システム	共通	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
売上高										
外部顧客への売上高	114,746	73,373	76,496	42,666	7,494	93,926	4,109	412,813	—	412,813
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,363	4,589	281	1,334	200	17,989	7,016	35,776	△35,776	—
計	119,109	77,963	76,777	44,001	7,695	111,916	11,126	448,589	△35,776	412,813
セグメント利益	9,141	2,481	2,597	265	632	2,496	795	18,411	6	18,418

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

当第3四半期連結累計期間において、「調味料」セグメントで104百万円、「タマゴ」セグメントで301百万円の負ののれん発生益を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成26年12月1日至平成27年8月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	調味料	タマゴ	サラダ・惣菜	加工食品	ファインケミカル	物流システム	共通	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
売上高										
外部顧客への売上高	118,528	76,741	81,307	46,606	8,320	95,777	4,284	431,565	—	431,565
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,079	4,370	173	1,893	225	18,305	7,478	37,526	△37,526	—
計	123,607	81,112	81,480	48,500	8,546	114,083	11,762	469,091	△37,526	431,565
セグメント利益	10,315	4,025	2,021	167	187	3,611	857	21,186	6	21,192

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

4. 補足情報

注) 1. 表示単位未満の端数は四捨五入にて表示しており、合計が合わない場合があります。
2. 本資料中の計画数値は、平成27年7月1日発表の数値を表示しております。

(1) 売上高・営業利益の状況と営業利益の増減要因

【売上高】

(単位：億円)

	事業名	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計	第3四半期	第3四半期累計	第4四半期	通期
25年11月期	調味料	331	386	717	378	1,095	359	1,454
	タマゴ	218	223	441	222	663	248	912
	サラダ・惣菜	227	244	472	261	733	247	980
	加工食品	138	154	291	148	439	145	584
	ファインケミカル	23	22	45	23	68	29	97
	物流システム	284	299	584	311	895	309	1,203
	共通	28	17	45	14	59	17	76
	合計	1,249	1,345	2,595	1,357	3,951	1,354	5,305
26年11月期	調味料	359	402	761	386	1,147	367	1,515
	タマゴ	241	253	494	240	734	261	995
	サラダ・惣菜	242	255	497	268	765	257	1,022
	加工食品	136	150	286	141	427	145	572
	ファインケミカル	23	28	51	23	75	32	107
	物流システム	300	312	612	327	939	329	1,268
	共通	13	15	28	13	41	14	55
	合計	1,315	1,415	2,730	1,398	4,128	1,406	5,534
27年11月期	調味料	366	406	772	413	1,185		1,585
	タマゴ	246	262	508	259	767		1,030
	サラダ・惣菜	251	274	525	288	813		1,070
	加工食品	141	168	308	158	466		625
	ファインケミカル	24	31	55	28	83		125
	物流システム	312	319	631	327	958		1,240
	共通	15	14	29	14	43		55
	合計	1,356	1,473	2,829	1,487	4,316		5,730
前年差	調味料	7	4	11	26	38		70
	タマゴ	5	9	15	19	34		35
	サラダ・惣菜	9	18	28	20	48		48
	加工食品	4	18	22	17	39		53
	ファインケミカル	1	2	4	5	8		18
	物流システム	12	7	19	0	19		28
	共通	2	1	1	1	2		0
	合計	41	58	99	88	188		196

平成27年11月期通期は、平成27年7月1日発表の計画数値を表示しております。
第2四半期は第2四半期累計と第1四半期の差、第3四半期は第3四半期累計と第2四半期累計の差、第4四半期は通期と第3四半期累計の差により算出しております。

【営業利益】

（単位：億円）

	事業名	第1四半期	第2四半期	第2四半期累計	第3四半期	第3四半期累計	第4四半期	通期
25年11月期	調味料	23	40	63	29	92	23	115
	タマゴ	6	11	18	11	29	5	34
	サラダ・惣菜	4	10	14	13	27	7	35
	加工食品	4	0	4	1	5	4	9
	ファインケミカル	3	2	5	1	6	3	9
	物流システム	3	11	13	10	24	8	32
	共通	3	3	6	2	8	0	8
	合 計	39	76	115	66	181	43	224
26年11月期	調味料	23	36	59	33	91	24	115
	タマゴ	1	11	10	15	25	13	38
	サラダ・惣菜	4	11	15	11	26	7	33
	加工食品	1	2	2	1	3	1	2
	ファインケミカル	2	3	5	1	6	4	10
	物流システム	6	9	15	10	25	11	36
	共通	3	3	5	3	8	2	10
	合 計	36	75	111	73	184	59	243
27年11月期	調味料	26	39	65	38	103		126
	タマゴ	15	13	27	13	40		49
	サラダ・惣菜	3	8	11	10	20		30
	加工食品	2	4	2	0	2		2
	ファインケミカル	0	1	1	1	2		5
	物流システム	10	12	22	14	36		41
	共通	3	3	6	2	9		11
	合 計	55	79	134	78	212		260
前年差	調味料	3	3	6	6	12		11
	タマゴ	15	2	17	2	15		11
	サラダ・惣菜	1	3	4	2	6		3
	加工食品	1	1	0	1	1		4
	ファインケミカル	2	2	4	1	4		5
	物流システム	4	2	6	5	11		5
	共通	0	1	1	0	1		1
	合 計	19	4	23	5	28		17

平成27年11月期通期は、平成27年7月1日発表の計画数値を表示しております。

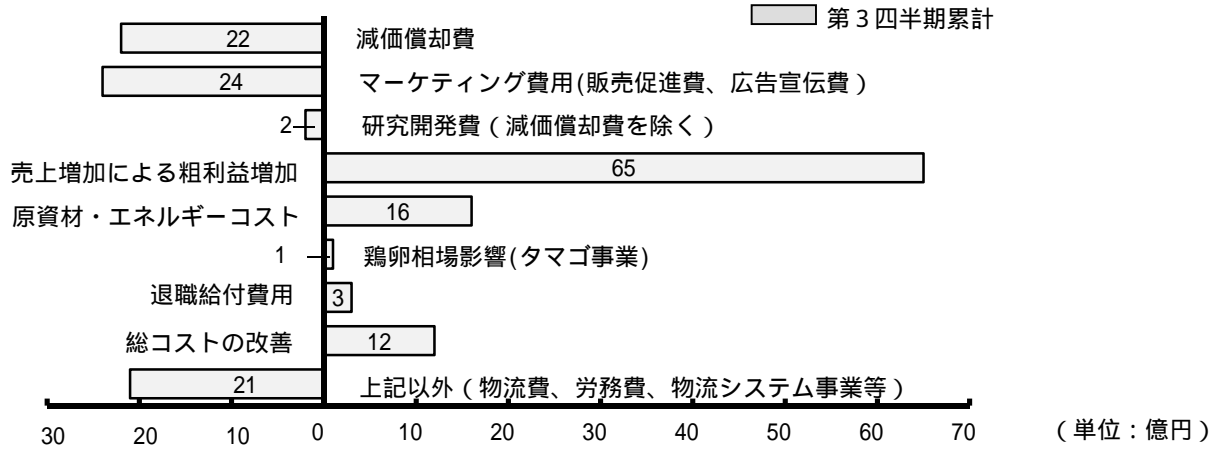
第2四半期は第2四半期累計と第1四半期の差、第3四半期は第3四半期累計と第2四半期累計の差、第4四半期は通期と第3四半期累計の差により算出しております。

【営業利益の増減要因(前年差)】

(単位：億円)

	26年11月期	27年11月期	前年差
第3四半期累計	184	212	28
通期	243	260	17

平成27年11月期通期は、平成27年7月1日発表の計画数値を表示しております。



(2) 設備投資と主要な販売費・一般管理費

(単位：億円)

	25年11月期 第3四半期累計	26年11月期 第3四半期累計	27年11月期 第3四半期累計	25年11月期	26年11月期	27年11月期 計画
設備投資	190	236	265	271	301	412
減価償却費	105	118	140	146	161	196
販売促進費	152	155	174	205	214	225
広告宣伝費	61	60	65	79	80	88
物流費	228	239	248	305	320	332
労務費	189	198	214	254	265	287
研究開発費	24	27	29	37	39	46

(3) 国内におけるサラダ調味料の業態別販売量および金額(キユーピー株式会社)

		25年11月期 第3四半期累計	26年11月期 第3四半期累計	27年11月期 第3四半期累計	25年11月期	26年11月期
家庭用	販売量(千t)	98	96	97	128	125
	金額(億円)	573	585	595	754	761
業務用	販売量(千t)	81	80	80	107	105
	金額(億円)	310	314	313	415	418

(4) 海外展開 売上高・営業利益の状況

(単位：億円)

	25年11月期 第3四半期累計	26年11月期 第3四半期累計	27年11月期 第3四半期累計	25年11月期	26年11月期	27年11月期 計画
海外 売上高	175	230	280	238	316	382
中国	56	78	107	81	110	147
東南アジア	38	46	62	52	64	85
北米	66	89	91	84	117	118
日本からの輸出等	15	17	20	21	26	32
海外 営業利益	8	18	29	12	28	33

海外子会社(中国、東南アジア、北米)の第3四半期累計の数値は、10月から6月を対象としております。

（5）営業外・特別損益の状況と主な増減内容

（単位：億円）

	25年11月期 第3四半期累計	26年11月期 第3四半期累計	27年11月期 第3四半期累計	増減内容 (26年11月期 第3四半期累計対比)	25年11月期	26年11月期	27年11月期 計画
営業外 損益	12	8	7	持分法による投資利益の増加 +1 デリバティブ評価損の増加 2	13	10	7
特別 損益	5	1	11	アヲハタ(株)連結子会社化による 持分変動利益、段階取得に係る 差益の増加 +19 固定資産除却損の増加 5	13	8	3

（6）貸借対照表の状況と主な増減内容

（単位：億円）

	26年11月期	27年11月期 第3四半期	増減	増減内容（26年11月期対比）
（資産の部）				
流動資産	1,546	1,449	97	現預金の減少 142 有価証券の減少 50 短期貸付金の増加 +44
固定資産				
有形・無形固定資産	1,569	1,711	142	取得による増加 +220 減価償却による減少 140 アヲハタ(株)連結子会社化による増加 +37
投資その他の資産	455	478	23	投資有価証券の増加 +11 退職給付に係る資産の増加 +11
（負債の部）				
	1,366	1,238	128	買掛債務の減少 59 未払金の減少 91 賞与引当金の増加 +38
（純資産の部）				
	2,204	2,400	197	利益剰余金の増加 +101 少数株主持分の増加 +57

（7）キャッシュ・フローの状況と主な増減内容

（単位：億円）

	25年11月期 第3四半期累計	26年11月期 第3四半期累計	27年11月期 第3四半期累計	増減内容 (26年11月期 第3四半期累計対比)	25年11月期	26年11月期
営業活動による キャッシュ・ フロー	150	188	132	税金等調整前四半期純利益の増加 +36 売上債権の減少 +110 仕入債務の減少 115 法人税等の支払額の増加 37	274	344
投資活動による キャッシュ・ フロー	159	292	315	有形固定資産、無形固定資産の 取得の増加 29 関係会社株式の取得による 支出の減少 +22	219	308
財務活動による キャッシュ・ フロー	18	14	64	借入金の減少 39 子会社の自己株式取得の増加 6	23	31